

三番瀬・海辺のボランティア講座

「富津のアマモ場観察」

2010年9月12日(土)

場所／富津潮干狩り場

<スケジュール>

- 10:30 集合、レクチャー、準備
- 11:00 アマモ場観察
- 13:00 観察終了、着替えなど
- 13:30 昼食、まとめ
- 14:30 解散

主催／特定非営利活動法人 三番瀬環境市民センター

No.10 アマモ場という環境を知ろう

2010.09.12

アマモ場はどんなところで、どんな生物がいるかな。三番瀬をイメージ再生のにあつたヨシ原という環境について知ろう

①富津干潟

東京湾の千葉側には、三番瀬のほかに、盤洲干潟、富津干潟、三番瀬、三枚洲などの自然の干潟が残っていますし、稲毛海浜公園、葛西海浜公園には人口の干潟があります。中でも富津干潟には大きな藻場があり、さらに盤洲干潟には干潟と連続したヨシ原もあって、かつてあつた東京湾の干潟の環境が残っています。

富津干潟は富津岬の北東側に広がる砂質の干潟です。東側は潮干狩り場として利用されています。その沖にはアマモやコアマモ、タチアマモの藻場が約120㍍あります。

かつての東京湾にはたくさんのアマモ場がありましたが、開発や環境の変化によって、アマモ場の面積は減ってしまいました。

②アマモ場の生き物

豊富なエサと外敵から身を守る隠れ家があるアマモ場は、小さな生き物や、稚魚たちの快適なすみかとなっています。アマモの森の中をよく探してみましょ。葉っぱの上にくっつく巻き貝や、ウミウシ、産み付けられた卵が見つかるかもしれません。また、アマモ場の周辺にはちょっと大きな魚たちが泳ぎ回っていたりします。見逃さないでね。



三番瀬・海辺のボランティア講座 第7回報告書

富津・アマモ場観察会

1. 日時、場所

実施日／平成22年9月11日（土）

時間／10：30～13：00

場所／富津潮干狩り場沖 アマモ場

2. 参加者

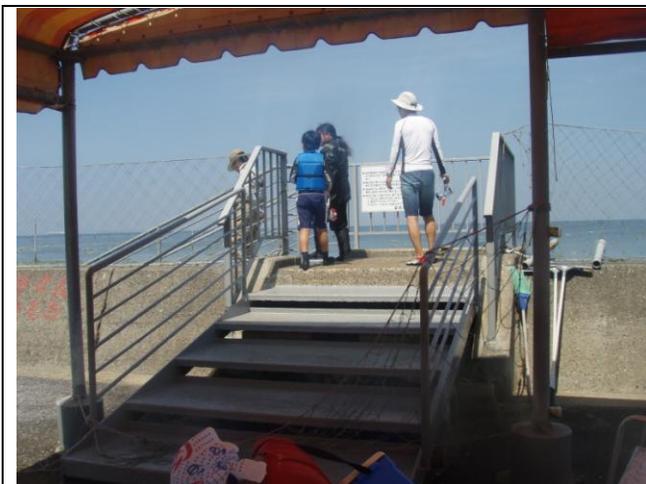
海辺のボランティア 4名

NPO三番瀬 3名

3. スケジュール

時間	内容
10：30	富津潮干狩り場集合 アマモ場観察
13：00	昼食、解散

4. 当日の様子



富津潮干狩り場の沖に広大なアマモ場があります



浜には大量のアナアオサが打ち寄せていました



海の中にもアナアオサのかたまりが島のようになっていました



高水温のため、岸寄りにはコアマモがたくさん生えていて、アマモはなかなか見つかりませんでした



コアマモの中にもいろんな生物がいます



顔を水につけて海の中をのぞくと、もっといろいろなものが見つかります



コアマモの群落



日本財団
The Nippon Foundation

助成事業



ガザミ



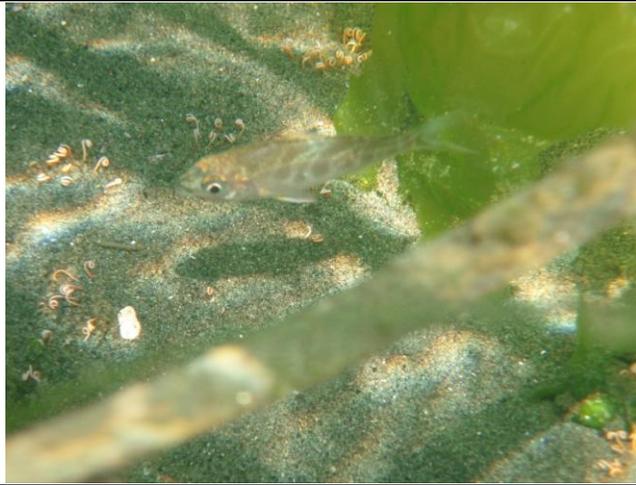
トゲアメフラシ



ニクハゼの群れ



カワハギ



?



アナアオサが腐ってイオウ分が出て水が白濁して
いました